FUJIFILM

Vol. 79
December 2010

株主の皆様へ

FUJIFILM NEWS

4月

■ 環境配慮型プリンターでオフィスの省エネに貢献！「DocuPrint C3350」新発売

■ 世界最薄・最軽量*の画期的なカセッテサイズ デジタルX線画像診断装置「FUJIFILM DR CALNEO C（カルネオ シー）」新発売

6月

■ 富士フイルムグループのペルセウスプロテオミクスと富士フイルムRIファーマが肺がんの新規RI標識抗体を開発し、「米国核医学会」において発表

7月

■ 世界最小*、ナノサイズに分散した「ヒト型ナノセラミド」を高濃度配合！角層のすみずみまで浸透し、潤いを持続させる新感覚のジェリー状美容液「ASTALIFT JELLY AQUARYSTA（アスタリフト ジェリー アクアリスタ）」新発売

■ 富士ゼロックスが、紙と電子の診療記録を統合管理する医療現場向けソリューションを大阪大学医学部附属病院へ導入

■ 伸長する大型液晶テレビ需要に対応し、偏光板保護フィルムの生産能力を増強。「超広幅フジタック」3ライン増設

■ 一眼レフ並み最速0.158秒のオートフォーカスを実現。進化した「スーパーCCDハニカムEXR」搭載「FinePix F300EXR」などデジタルカメラ「FinePix」シリーズ5機種を新発売

■ 富士ゼロックスオーストラリアが、豪州最大規模*のマネージド・プリント・サービスプロバイダーを買収

8月

■ 世界でただ1つ*、ハイビジョン動画も撮れる3Dデジタルカメラ。自分だけの3D映像をテレビやパソコンで楽しめる！「FinePix REAL 3D W3」新発売

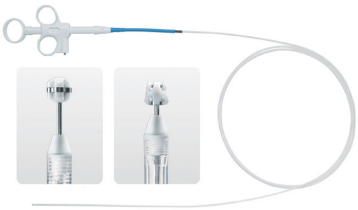
■ ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング社と資本提携し、再生医療材料の研究・開発を加速させ、事業化を推進

9月

■ スキンケア化粧品「ASTALIFT（アスタリフト）」シリーズ、中国での販売を開始

■ 小型・軽量ボディで、機動性抜群！ 3D映像撮影用のHDTVレンズ「FUJINON XA4×7.5BMD-D3L/D3R」新発売

■ 患者の身体的負担が少ない「内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）」用処置具。「絶縁チップ」を搭載し、安全性と操作性を向上させたディスポーザブル高周波ナイフ「SAFEKnifeV（セーフ ナイフ ヴイ）」「SAFEKnifeH（セーフ ナイフ エイチ）」新発売



■ 既存のフィルム映写機を利用し、低コストで3D映画の上映が可能に！フィルムによる3D映画上映システムの提供を開始

＊ニュースリリース発表時現在

（注）月はニュースリリースの発表月です。実際の発売月、設立月とは異なる場合があります。

世界市場を舞台に新たな成長を目指す

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成22年度第2四半期累計期間の振り返り

平成22年度第2四半期累計期間（平成22年4月1日～9月30日）は、国内外において需要が回復傾向にありました。市場が拡大している中国やインドなどの新興国市場における販売は好調に推移しました。その一方で、為替円高や原材料価格の高騰の影響も受けており、先行きは楽観の許されない状況が継続しています。

当期間の連結売上高は、急激な為替円高によるマイナス影響(282億円)を受けたものの、新製品投入や拡販努力により前年同期比5.9%増の1兆1,053億円となりました。為替影響額を除いた売上高は前年同期比8.6%増となっております。構造改革費用前営業利益は、為替の円高による76億円のマイナス影響などがあったものの、主要事業における売上増や、コスト削減及び構造改革の効果により、対前年同期比約3.6倍の945億円となりました。構造改革費用前営業利益率は、リーマンショック前の平成20年度第2四半期累計期間の6.4%を上回る8.6%を達成しました。税金等調整前四半期純利益は770億円、当社株主帰属四半期純利益は403億円となりました。

平成22年度中間期の配当金は、15円といたしました。年間の配当金は、構造改革による固定費削減効果や、重点事業分野や新興国市場における成長戦略の推進により、損益が大きく改善する見込みであることから、前年度比5円増配の30円を予定しております。また、株主還元水準の向上や資本効率の改善を図るとともに、機動的な資本政策を可能とするため、750万株、200億円を上限として自己株式の取得を実施しています。

今後の取り組み

“富士フイルムの舞台は世界市場”

当社は、平成21年度より構造改革に取り組み、厳しい環境下においても確実に利益が生み出せる企業体質の構築を進めてきました。そして、平成21年度からの2年間で固定費を約1,800億円削減することで、過去最高の売上高を計上した平成19年度の80%という事業規模においても営業利益率10%を確保できる企業体質を確立しつつあります。

例えば、デジタルカメラ事業では、競争環境の激変による採算悪化に短期間で対応、事業構造強化を果たしました。市場が急速に縮小したフォトイメージング事業では、適正な事業規模への徹底したスリム化を完了するとともに、ニーズに合った新商品を投入することにより、シェアを拡大しています。また、富士ゼロックスは、コスト削減活動などにより、収益性を改善、再び高成長・高収益企業へと変貌しました。

これらと同時に、重点事業の成長戦略も強力に推し進め、フラットパネルディスプレイ材料などワールドワイドで高いシェアを誇る様々な商品を生み出してきました。

当社では、構造改革の完遂にめどが立った平成22年度を再び成長軌道に乗せる転換の年と位置づけています。さらにグローバル化を進め、世界市場を舞台に新たな成長を目指し、グループ全員一丸となって努力する所存です。

株主の皆様には、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

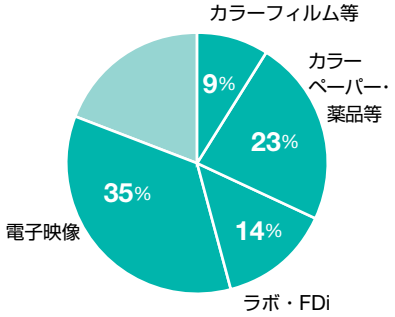
平成22年12月

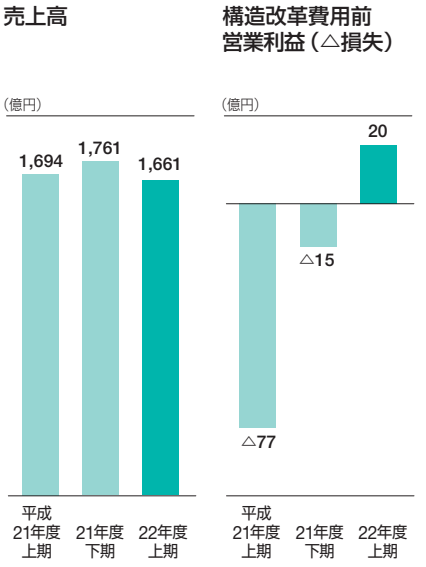
代表取締役社長・CEO

古森重隆

イメージングソリューション

売上高構成比





業績概要

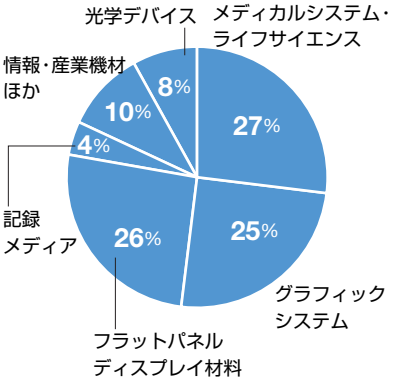
- カラーペーパーは、為替の円高影響を受け、売上が減少したものの、シェア拡大などで販売数量が増加。電子映像事業では、新興国を中心に先進国でも販売が好調に推移。販売数量は前年同期比40%の大幅増を記録。事業別営業利益も大幅増。

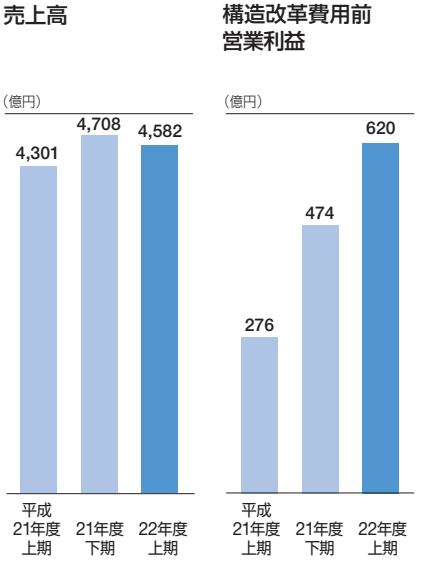
今後の取り組み

- 市場が拡大する「フォトブック」など付加価値プリントの販売強化。
- 「FinePix REAL 3D System」「FinePix F300EXR」など独自技術を活かしたデジタルカメラの拡販。光学レンズとの開発協業強化で、商品力と開発スピードをアップ。
- 新興国における国ごとのニーズに合わせたデジタルカメラの拡販。

インフォメーションソリューション

売上高構成比





業績概要

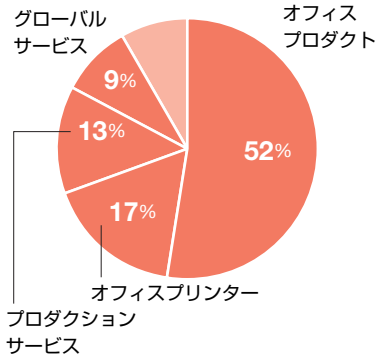
- 為替の円高影響があったものの、フラットパネルディスプレイ材料事業やメディカルシステム・ライフサイエンス事業などの主要事業が拡大。事業別営業利益も大幅増。

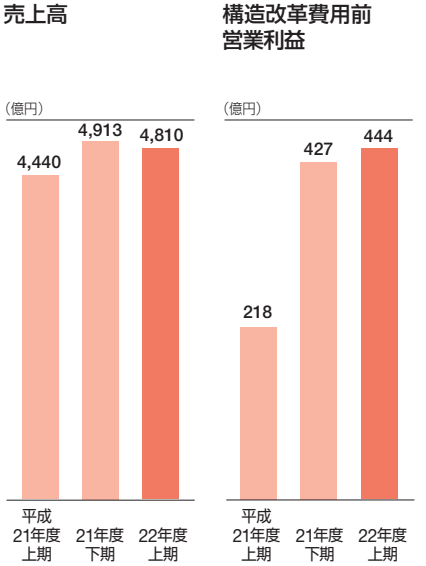
今後の取り組み

- メディカルは、医療ITや小型FCRを軸に販売強化。デジタルX線画像診断装置(DR)の高付加価値商品を強化。
- 早期発売を目指し、新インフルエンザ治療薬「T-705」の開発を推進。
- グラフィックは、成長するデジタル印刷分野でワイドフォーマットインクジェットシステムを拡販。
- 光学デバイスは、携帯電話用モジュールなどへの事業拡大の推進。

ドキュメントソリューション

売上高構成比





業績概要

- 前年発売の複合機が好調に推移し、アジア・オセアニア地域での販売や米国ゼロックス社向け輸出が大幅に増加。事業別営業利益も大幅増。

今後の取り組み

- 業界トップレベルの省エネ性能を備えた「ApeosPort-IV / DocuCentre-IV シリーズ」が牽引し、販売台数が増加。コピー枚数も増加傾向。
- オフィスプリンターは、全地域で販売台数が大幅に増加。
- 成長が期待されるプロダクションサービス、グローバルサービスの強化。豪州のマネージド・プリント・サービスプロバイダーを買収したことにより、中小企業向けサービスも拡充。

財務ハイライト

単位：百万円

	平成22年度 第2四半期累計 （平成22年4月1日～平成22年9月30日）	平成21年度 第2四半期累計 （平成21年4月1日～平成21年9月30日）	平成21年度 （平成21年4月1日～平成22年3月31日）
損益状況			
売上高	**¥1,105,345**	¥1,043,484	¥2,181,693
構造改革費用前営業利益	**94,514**	26,594	101,629
構造改革費用後営業利益（△損失）	**85,890**	△8,601	△42,112
税金等調整前四半期（当期）純利益（△損失）	**76,984**	△7,952	△41,999
当社株主帰属四半期（当期）純利益（△損失）	**40,301**	△5,409	△38,441
研究開発費	**83,039**	88,272	175,120
キャッシュ・フロー状況			
営業活動によるキャッシュ・フロー	**105,514**	179,431	314,826
投資活動によるキャッシュ・フロー	**△80,807**	△59,496	△131,204
フリー・キャッシュ・フロー *1	**24,707**	119,935	183,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	**5,074**	△41,723	△42,609
財政状態			
総資産	**2,789,380**	2,836,156	2,827,428
株主資本	**1,732,115**	1,754,492	1,746,107
設備投資額 *2	**36,484**	40,613	77,913
減価償却費 *2	**76,755**	93,747	195,083
（うち有形固定資産）*2	**51,084**	63,146	135,103

単位：円

1株当たり金額			
当社株主帰属四半期（当期）純利益（△損失）	**¥82.48**	¥ △11.07	¥ △78.67
潜在株式調整後当社株主帰属四半期（当期）純利益（△損失）	**75.57**	△11.07	△78.67
配当金	**15.00**	12.50	25.00
財務指標			
構造改革費用前営業利益率	**8.6%**	2.5%	4.7%
ROE	**2.3%**	△0.3%	△2.2%
株主資本比率	**62.1%**	61.9%	61.8%

＊1 フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー
＊2 ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

会社概要

会社名　富士フイルムホールディングス株式会社
設　立　昭和9年1月20日
資本金　40,363百万円（平成22年9月30日現在）
本　社　東京都港区赤坂9丁目7番3号
連結従業員数　77,616名（平成22年9月30日現在）

インターネットで株主様、投資家の皆様向けの情報がご覧になれます。

http://www.fujifilmholdings.com/ja/investors/index.html

株主メモ

事業年度末日　3月31日

定時株主総会　6月下旬

公告掲載
当社ホームページに掲載します。
URL（アドレス）は次のとおりです。
http://www.fujifilmholdings.com/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人
東京都港区芝3丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先／電話照会先
〒168-0063
東京都杉並区和泉2丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社　証券代行部
電話　0120-78-2031（フリーダイヤル）

取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店、及び全国各支店で行っております。

単元株式数　100株

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行にお申し出ください。

「配当金計算書」について
配当金支払いの際、送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

FUJIFILM

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C014687
GPN Green Purchasing Network 印刷サービス